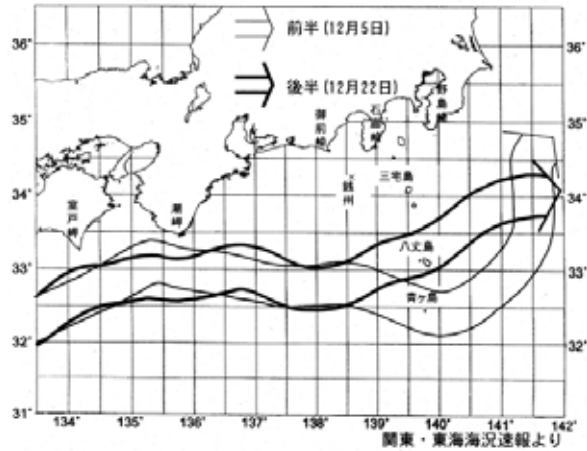


漁海況月報

平成 28 年 12 月 1 日

No. 12 ~ 12 月 31 日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



12 月定地水温の旬平均値 () (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	19.2	19.8	18.8	18.6	18.3	18.2
	1.8	1.9	1.4	0.7	0.7	1.4
中旬	18.0	18.6	17.8	17.5	17.2	16.4
	1.3	1.5	1.4	0.6	0.6	0.3
下旬	17.7	18.4	17.4	17.2	16.3	15.8
	2.1	2.1	1.8	1.2	0.7	0.9
月	18.3	19.0	18.1	17.8	17.3	16.9
	1.8	1.9	1.6	0.9	0.8	1.0

* 地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

12 月上旬は小規模な C 型で、遠州灘沖 32.5°N から東南東に進み八丈島の南を通過した後北東に進んだ。中旬は W 状(B+D 型)となり遠州灘沖と房総沖に極めて小さな蛇行が見られた。下旬は小規模な B 型で、遠州灘沖 32.5°N から東北東に進み八丈島のわずかに北を通過した。

【県下沿岸域】

12 月上旬は、伊東、稲取で「高め」、下田、雲見、沼津、焼津で「やや高め」であった。中旬は、稲取で「高め」、伊東、下田、雲見、沼津で「やや高め」、焼津で「平年並」であった。下旬は、伊東、稲取、下田で「高め」、雲見、沼津、焼津で「やや高め」であった。

【竿釣カツオ】

12 月の県内主要 5 港 (沼津、清水、焼津、小川、御前崎) における近海カツオの水揚量は 1.6 トン

で、上旬に沿岸船 1 隻が水揚げして今期の終漁となった。

漁場は青ヶ島周辺で、体重 1.3kg 以下 (尾叉長測定データなし) の特小カツオを主体に漁獲した。平均単価は魚体が小さいこともあり 151 円/kg と前年同期を下回った。

竿釣り (近海 + 沿岸船) カツオ水揚量 (県内主要 5 港)

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	平均水揚量 / 隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
28 年 12 月上旬	1.6	1	1.6	151
中旬	-	-	-	-
下旬	-	-	-	-
28 年 12 月計	1.6	1	1.6	151
27 年 12 月計	0.9	1	0.9	643
26 年 12 月計	-	-	-	-

御前崎港における測定データ無し

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網 7 か統 (伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津) の水揚量は 143 トンで前年の同漁場の水揚量 (228 トン) の 63% であった。また、1 か統あたりの水揚量は、20.5 トンで前年 (32.6 トン) の 63%、平年 (昭和 57 ~ 平成 27 年の平均 45 トン) の 46% であった。水揚量の多い漁場は、川奈漁場 (35.5 トン、さば類・ふぐ類・スルメイカ)、次いで伊豆山漁場 (31.9 トン、さば類・ふぐ類・アカカマス) であった。

多獲された魚種の水揚量は以下 (表) の通りで、さば類は 59.8 トンで前年比 1.2 倍、平年比 73% であった。さば類のうち、ゴマサバは 53 トンで前年比 1.1 倍、平年比 66% と平年を下回る漁獲であったが、マサバは 6.8 トンで前年比 5.6 倍、平年比 2.1 倍と前年、平年を上回る漁獲であった。また、マサバの体長組成は 23 ~ 29 cm および 30 ~ 41 cm の二峰型であった。ふぐ類 (さばふぐ類) は 25.9 トンで前年比 10.1 倍、平年比 6.3 倍と好調な漁獲であった。アカカマスは 9.8 トンで前年比 43%、平年比 3.9 倍と平年を大きく上回る漁獲であった。スルメイカは 6.6 トンで前年比 11%、平年比 18% と前年、平年を大きく下回る低調な漁獲であった。ブリは 5.5 トンで、銘柄ぶり・わかし・わらさ主体であった。なお、わかしは前年比 5.4 倍、平年比 9.2 倍と 11 月に引き続き漁獲量が多く、特に伊豆山・古網で多かった。

多獲された魚種の主な漁場は以下 (表) の通りで、さば類は川奈漁場が 33% (19.5 トン)、北川漁場が 30% (17.6 トン)、ふぐ類は伊豆山漁場が 36% (9.3 トン)、古網漁場が 28% (7.1 トン)、アカカマスは古網漁場が 49% (4.8 トン)、伊豆山漁場が 44% (4.3 トン)、スルメイカは川奈漁場が 30% (2.0 トン)、北川漁場が 25% (1.6 トン)、ブリは川奈漁場が 31% (1.7 トン)、古網漁場が 28% (1.6 トン) を占めた。

* 統計数値は表示単位未満を四捨五入しているため、前年比及び平年比の倍率が表示と一致しない場合がある。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量 (トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	59.8	1.2	0.7	川奈、北川、伊豆山
ふぐ類	25.9	10.1	6.3	伊豆山、古網、川奈
アカカマス	9.8	0.4	3.9	古網、伊豆山、富戸
スルメイカ	6.6	0.1	0.2	川奈、北川、谷津
ブリ	5.5	0.8	1.5	川奈、古網、伊豆山

[サバ 棒 受 網]

小川港にはゴマサバが347トン(前年同月比96%)水揚げされ、1隻あたり水揚量は17.4トン(前年同月30.3トン)であった。1kgあたり平均単価は93円で前月(92円)と同程度であったが、前年同月(83円)を上回った。また、マサバがゴマサバに混じって漁獲され(1トン)同港において12月に1トン以上のマサバの水揚げがあったのは平成6年以来であった。

棒受網の漁場は月を通じて三本に形成された。漁獲されたゴマサバの体長組成は27cmと30cmにモードを持つ2峰型を示し、0歳魚と2歳魚主体であった。また、マサバの体長組成は30cmと34cmにモードを持つ2峰型を示し、2、3歳魚主体であった。

小川港 さば類(棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
28年12月上旬	0	122	2	7	0.0	17.4	216	90	三本
中旬	1	171	4	11	0.1	15.5	185	97	三本
下旬	0	55	1	2	0.0	27.3	118	86	三本
28年12月計	1	347	7	20	0.0	17.4	183	93	三本
27年12月計		363	5	12		30.3		83	三宅
26年12月計		85	3	6	-	14.1	-	116	三本 三宅

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サク ラ エ ビ 船 曳 網]

平成28年秋漁12月の出漁日数は9日(前年同月は6日)、水揚量は199トン(前年同月222トン)で、1日1か統あたりの漁獲量は368kg(前年同月618kg)であった。

主な漁場は焼津沖、大井川沖、吉田沖で、水揚げされたサクラエビの体長組成は、体長31~32mmにモードを持つ0歳と40~41mmにモードを持つ1歳の2群で構成されていた。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(トン)	日数	1日1か統当たり平均漁獲量(kg)	漁 場
平成28年12月上旬	61.8	4	258	焼津・大井川沖・吉田沖
中旬	136.8	5	456	焼津・大井川沖
下旬	-	-	-	-
平成28年12月計	198.7	9	368	焼津・大井川沖
平成27年12月計	222.3	6	618	焼津・大井川沖
平成26年12月計	91.4	5	305	焼津・大井川沖
平成25年12月計	311.9	9	578	焼津・大井川沖

*水揚量は、旬ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[シ ラ ス 船 曳 網]

主要6港における総水揚量は152.6トンで前年同期(215.3トン)の71%、平年同期(219.6トン)の70%と前年同期、平年同期を下回った。1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が98kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が334kg、主要6港平均が244kgで前年同期(202kg)の121%と上回り、平年同期(過去5か年平均:230kg)の106%と同水準であった。平均単価は711円/kgと、

前年同期(946円/kg)と平年同期(815円/kg)を下回った。
シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	4.9	4	18	270	520
舞 阪	69.0	6	171	403	474
福 田	34.2	5	111	308	737
御前崎	21.1	8	87	243	775
吉 田	16.4	8	158	104	947
静 岡	7.0	7	80	87	2,310
平成28年12月計	152.6	38	625	244	711
平成27年12月計	215.3	51	1,067	202	946
平成26年12月計	304.0	51	1,123	271	784

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同期:過去5か年(平成23~27年)平均値

[ま き 網 (い わ し 類)]

マイワシの水揚げは、小川港では38kgで、前年同期(26.9トン)の0.1%、平年同期(16.1トン)の0.2%であった。沼津港では6.5トンで、前年同期(3.4トン)の193%、平年同期(15.1トン)の43%であった。静岡港では0.5トン(前年同期と平年同期の水揚げは無かった)であった。伊東港では51.0トンで、前年同期(52.0トン)の98%、平年同期(66.7トン)の77%であった。カタクチイワシの水揚げは小川港、沼津港、静岡港および伊東港では無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網8か統の水揚げは、マイワシが31kg、カタクチイワシは無かった。

*平年同期:過去5か年(平成23年~27年)平均値

[調 査 船 駿 河 丸 の 動 向]

12月 1日	公共用水域水質測定調査	(1日間)
12月 7日 ~ 12月 9日	地先定線観測調査	(3日間)
12月 12日 ~ 12月 13日	サクラエビ調査(MOHTネット)	(2日間)
12月 15日 ~ 12月 16日	さば標識放流調査	(2日間)
12月 19日 ~ 12月 20日	キンメダイ食害調査	(2日間)
12月 21日 ~ 12月 22日	さば標識放流調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

